

☆読書感想文 書き方のポイント☆

どうやって読書感想文を書こうか、迷っている人もいます。そこで、読書感想文を書く時のコツを、すこしだけ紹介したいと思います！

①読みながらふせんを貼ろう

おどろき、おもしろい、すごい、かなしい、うれしい…自分の気持ちが動いたページにふせんを貼っておこう。ふせんに読んだ自分の気持ちやそう思った理由を書いておくと、実際に感想文を書くときに役立ちます！

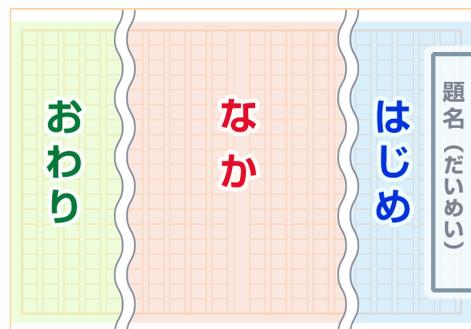
②【はじめ】【なか】【おわり】の内容や文の量を意識して書こう

【はじめ】本を選んだきっかけや本のあらすじ、作者や登場人物の紹介を書きましょう。【はじめ】

は長くなりすぎないようにしましょう。とくにあらすじは長くなりやすいので注意！

【なか】自分の心にのこったことを「なぜ心にのこったのか」「どのように心にのこったのか」など、くわしく書きましょう。また、「もし自分だったら…」「自分も似たような体験がある」など、登場人物との比較や自分の体験についても書きましょう。

【おわり】本から学んだことやこれから自分がどうしていきたいかを書きましょう。読む前と読んだ後の自分の気持ちの変化を考えてもいいですね。



文の量は全体を10とすると

【はじめ】が2

【なか】が6

【おわり】が2

くらいがオススメです。

③題名を工夫しよう

題名は、その感想文や本を読みたい！と思われるように工夫しましょう。

例えば、

- ・テーマにふれる（夢、友情、努力、など…）
- ・登場人物の名前を入れる
- ・タイトルを入れる
- ・繰り返し出てきている言葉を入れる

などがオススメです。

夏休み、たくさんのステキな本に出会って、読書感想文にチャレンジしてみてくださいね！